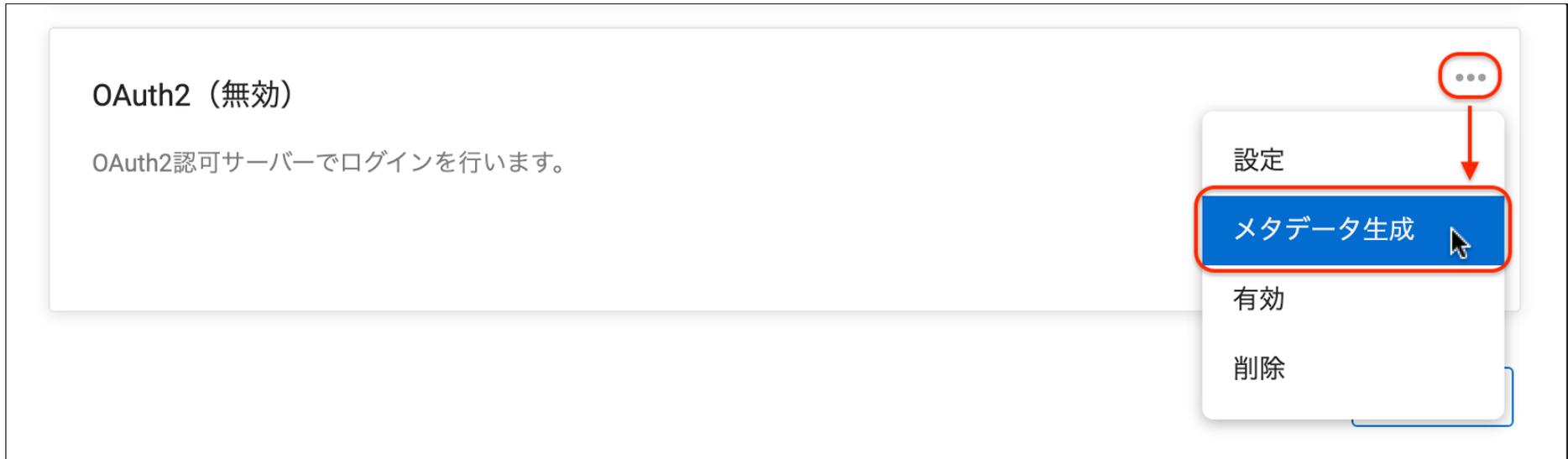


- 1 お客様のControlサイトで、管理者メニューのセキュリティページを開きます。  
右上にある「追加」メニューから「OAuth2」を選択します。



- すると、認証データベースの一覧に「OAuth2（無効）」が追加されます。  
右にある「…」メニューから「メタデータ生成」を選択します。



3 すると、下図のようなページが表示されます。

Redirect URLが後ほど必要となりますので、控えておいてください。

Redirect URI: [https://\[REDACTED\].screenconnect.com/\\_\\_/Authentication/\[REDACTED\]/Login](https://[REDACTED].screenconnect.com/__/Authentication/[REDACTED]/Login)

- 4 Microsoft Azure Portal (<https://portal.azure.com>) を開きます。  
左のサイドバーから「Azure Active Directory」を選択します。

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ANNET INC.

### Azure サービス

- リソースの作成
- Azure Active Directory
- Virtual Machines
- App Service
- ストレージ アカウント
- SQL データベース
- Azure Database for PostgreSQL
- Azure Cosmos DB
- Kubernetes サービス
- その他のサービス

### 最近のリソース

名前	種類	最終表示日
従量課金	サブスクリプション	1年前

### 移動

- サブスクリプション
- リソース グループ
- すべてのリソース
- ダッシュボード

### ツール

- Microsoft Learn: Microsoft が提供する無料のオンライントレーニングで Azure について確認する
- Azure Monitor: アプリとインフラストラクチャを監視します
- Security Center: アプリおよびインフラストラクチャをセキュリティで保護します
- コスト管理: 無料でクラウド支出を分析して最適化する

### 役に立つリンク

- 技術文書
- Azure 移行ツール
- Azure サービス
- Azure Expert の検索
- 最新の Azure 更新プログラム
- クイック スタート センター

### Azure mobile app

- Download on the App Store
- GET IT ON Google Play

- 5 Azure Active Directoryのページで、左のメニューから「アプリの登録」を選択し、「新規登録」をクリックします。

The screenshot shows the Microsoft Azure portal interface for 'Annet Inc. | アプリの登録' (App Registrations) under Azure Active Directory. The left-hand navigation menu is visible, with 'アプリの登録' (App Registrations) highlighted in a red box. In the main content area, the '+ 新規登録' (New Registration) button is also highlighted in a red box, with a red arrow pointing from the menu item to it. The main area displays a table of registered applications, with one application listed. The table has columns for '表示名' (Display Name), 'アプリケーション (クライアント) ID' (Application (Client) ID), '作成日' (Created Date), and '証明書とシークレット' (Certificates and Secrets). The application listed has a creation date of 2020/1/9.

表示名	アプリケーション (クライアント) ID	作成日	証明書とシークレット
[REDACTED]	[REDACTED]	2020/1/9	-

- 6 登録するアプリに名前を付けます（下図の例では「Control Access」を使用しています）。そして、先程控えたRedirect URIの値を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

ホーム > Annet Inc. >

## アプリケーションの登録

\* 名前

このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後で変更できます)。

Control Access

サポートされているアカウントの種類

このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれですか?

- この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (Annet Inc. のみ - シングル テナント)
- 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)
- 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント) と個人の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)
- 個人用 Microsoft アカウントのみ

[選択に関する詳細...](#)

リダイレクト URI (省略可能)

ユーザー認証が成功すると、この URI に認証応答を返します。この時点での指定は省略可能で、後ほど変更できますが、ほとんどの認証シナリオで値が必要となります。

Web .com/\_Authentication/[redacted]/Login

作業に使用しているアプリをこちらで登録します。ギャラリー アプリと組織外の他のアプリを [\[エンタープライズ アプリケーション\]](#) から追加して統合します。

[続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります](#)

登録

## 7 後で「アプリケーション (クライアント) ID」の値を使用しますので、控えて置いてください。

The screenshot shows the Microsoft Azure portal interface for a 'Control Access' application. The 'Application (Client) ID' is highlighted with a red box and a red arrow, with a tooltip indicating 'クリップボードにコピー' (Copy to clipboard). The application ID is 8ded23d7-adf9-407a-9559-d928f52b1075. Other details include the Object ID (d883136d-e76f-4f09-bcac-92b701bdc468), Directory (Tenant) ID (ff731946-8145-4030-819c-50d2bbc5b6dc), and supported account types (所属する組織のみ).

項目	値
表示名	Control Access
アプリケーション (クライアント) ID	8ded23d7-adf9-407a-9559-d928f52b1075
オブジェクト ID	d883136d-e76f-4f09-bcac-92b701bdc468
ディレクトリ (テナント) ID	ff731946-8145-4030-819c-50d2bbc5b6dc
サポートされているアカウントの種類	所属する組織のみ

- 8 左のメニューから「証明書とシークレット」を選択し、「クライアントシークレット」タブを開き、新しいクライアントシークレットを作成してください。



Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

ANNET INC.

ホーム > Annet Inc. > Control Access

### Control Access | 証明書とシークレット

検索 (Cmd+/) フィードバックがある場合

概要

クイック スタート

統合アシスタント

管理

ブランド

認証

**証明書とシークレット**

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者 | プレビュー

マニフェスト

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所で (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、機密性の高いアプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアント シークレットではなく) 証明書を使うことをお勧めします。

アプリケーション登録証明書、シークレット、フェデレーション資格情報は、下のタブにあります。

証明書 (0) **クライアント シークレット (0)** フェデレーション資格情報 (0)

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

**+ 新しいクライアント シークレット**

説明	有効期限	値	シークレット ID
このアプリケーションのクライアント シークレットは作成されていません。			

- 9 「説明」と「有効期限」を設定し、「追加」ボタンをクリックします。

## クライアント シークレットの追加 ×

説明

有効期限

## 10 後でシークレットの「値」を使用しますので、控えて置いてください。



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > Annet Inc. > CWCCA

### CWCCA | 証明書とシークレット

検索 (Cmd+/) << フィードバックがある場合

概要

クイック スタート

統合アシスタント

管理

ブランド

認証

**証明書とシークレット**

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者 | プレビュー

お時間があれば、フィードバックをお寄せください。 →

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所で (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、機密性の高いアプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアント シークレットではなく) 証明書を使うことをお勧めします。

アプリケーション登録証明書、シークレット、フェデレーション資格情報は、下のタブにあります。

証明書 (0) **クライアント シークレット (1)** フェデレーション資格情報 (0)

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアント シークレット

説明	有効期限	値	クライアント ID
Control OAuth2	2022/6/14	[Redacted]	[Redacted]

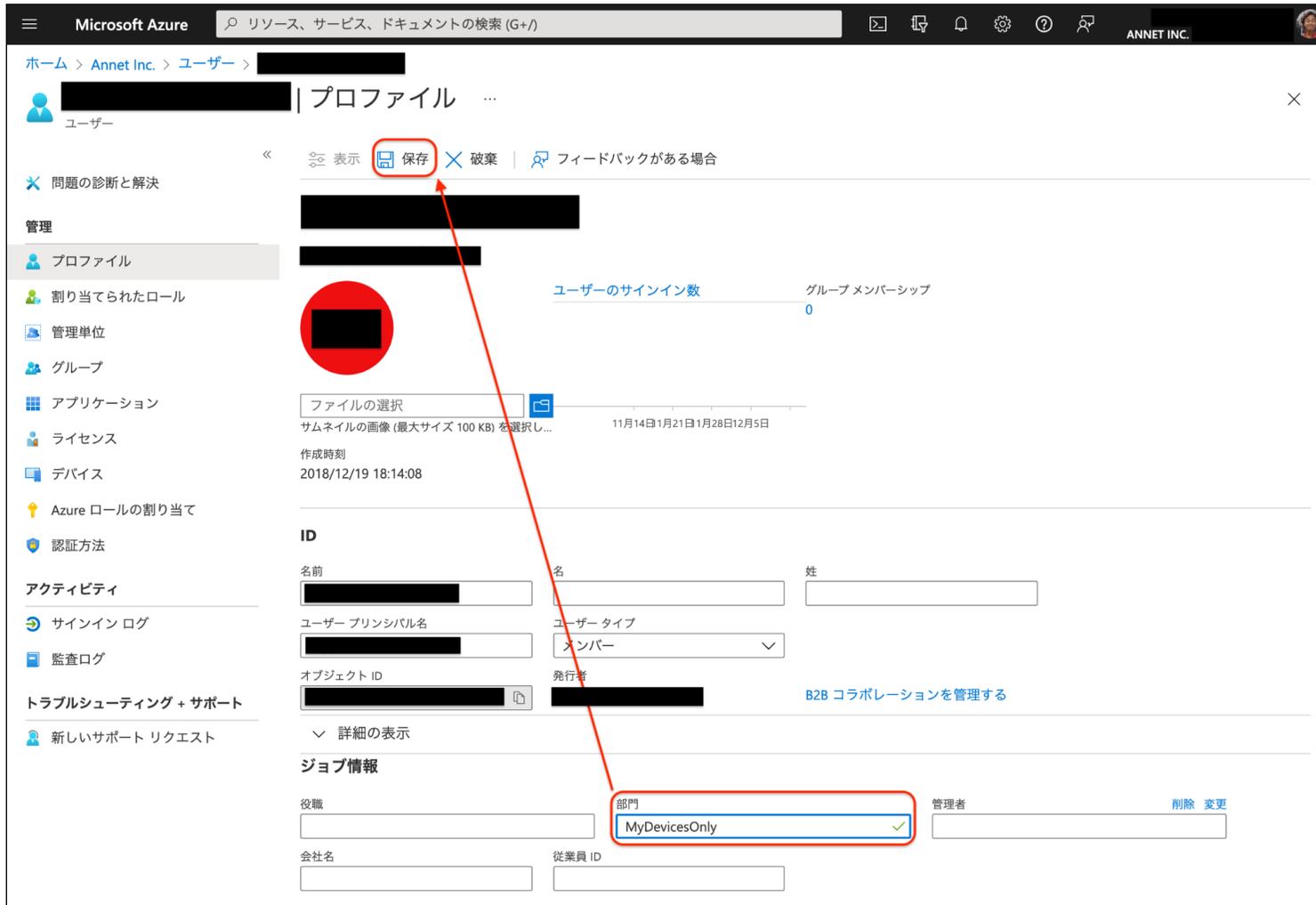
クリップボードにコピー



## 1.2 プロファイル画面で「編集」をクリックします。

The screenshot shows the Microsoft Azure portal interface. At the top, there is a search bar and navigation icons. The breadcrumb trail is: ホーム > Annet Inc. > ユーザー > [Redacted]. The main heading is 'プロフィール' (Profile). Below the heading, there is a navigation bar with several options: '編集' (Edit), 'パスワードのリセット' (Reset password), 'セッションを取り消す' (Sign out), '削除' (Delete), '更新' (Refresh), and 'フィードバックがある場合' (If you have feedback). The '編集' button is highlighted with a red circle and a red arrow. Below the navigation bar, there is a section for '管理' (Management) with a list of options: 'プロフィール' (Profile), '割り当てられたロール' (Assigned roles), '管理単位' (Management units), 'グループ' (Groups), 'アプリケーション' (Applications), 'ライセンス' (Licenses), and 'デバイス' (Devices). The 'プロフィール' option is selected. The main content area shows a red circle representing the user's profile picture. To the right, there is a section for 'ユーザーのサインイン数' (Number of user sign-ins) and 'グループメンバーシップ' (Group membership), with a value of 0. At the bottom, there is a section for '作成時刻' (Created at) with the timestamp '2018/12/19 18:14:08'.

- 1 3 ジョブ情報の「部門」フィールドにControl側の権限名を入力し、「保存」ボタンをクリックします。この作業を繰り返します。



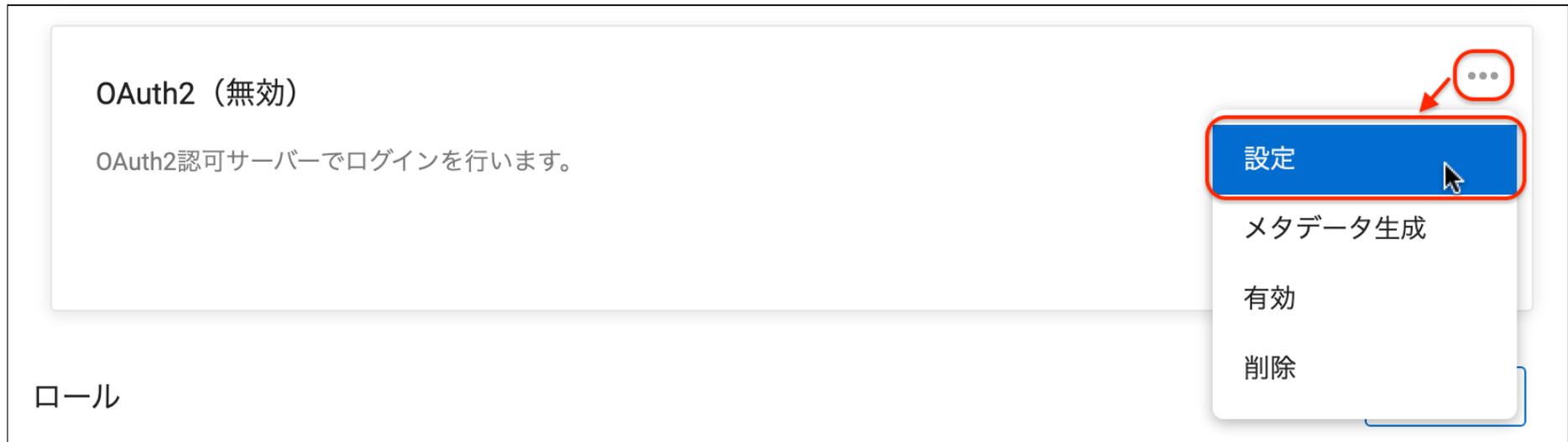
The screenshot shows the Microsoft Azure portal interface for a user profile. The breadcrumb navigation is "ホーム > Annet Inc. > ユーザー > [Redacted]". The page title is "プロフィール". The left sidebar contains navigation options: "問題の診断と解決", "管理" (with sub-items: "プロフィール", "割り当てられたロール", "管理単位", "グループ", "アプリケーション", "ライセンス", "デバイス", "Azure ロールの割り当て", "認証方法"), "アクティビティ" (with sub-items: "サインイン ログ", "監査ログ"), and "トラブルシューティング + サポート" (with sub-item: "新しいサポート リクエスト").

At the top, there are buttons for "表示", "保存" (highlighted with a red circle), and "破棄". Below this, there is a red circle icon and a "ユーザーのサインイン数" (0) and "グループメンバーシップ" (0) section. A "ファイルの選択" section shows a thumbnail selection interface with a date range from 11月14日 to 12月5日 and a creation time of 2018/12/19 18:14:08.

The "ID" section includes fields for "名前" (名, 姓), "ユーザープリンシパル名", "ユーザータイプ" (メンバー), "オブジェクト ID", and "発行者". A link "B2B コラボレーションを管理する" is visible.

The "ジョブ情報" (Job Information) section has a "詳細の表示" dropdown. It contains fields for "役職", "部門" (highlighted with a red circle and containing "MyDevicesOnly" with a checkmark), "管理者" (with "削除" and "変更" links), "会社名", and "従業員 ID".

**1 4** お客様のControlサイトへ戻り、OAuth2の設定画面を開きます。



15 下図の通り入力し、「保存」ボタンをクリックします。

### 設定の編集 ×

Key	Value
AccessCodeServiceUri	<a href="https://login.microsoftonline.com/comm...">https://login.microsoftonline.com/comm...</a>
AccessTokenServiceUri	<a href="https://login.microsoftonline.com/comm...">https://login.microsoftonline.com/comm...</a>
UserInfoServiceUri	<a href="https://graph.microsoft.com/beta/me">https://graph.microsoft.com/beta/me</a>
Scope	User.Read
AccessType	
Prompt	
ResourceID	<a href="https://graph.microsoft.com/">https://graph.microsoft.com/</a>
UserInfoIDPath	id
UserInfoEmailPath	mail
UserInfoFirstNamePath	mail
UserInfoLastNamePath	
ClientID	
ClientSecret	
UserInfoRoleNamesPath	department
ExtraRoleNames	
ExternalUserManagementUri	
DisplayName	365

[保存](#)

AccessCodeServiceUri	https://login.microsoftonline.com/common/oauth2/authorize
AccessTokenServiceUri	https://login.microsoftonline.com/common/oauth2/token
UserInfoServiceUri	https://graph.microsoft.com/beta/me
Scope	User.Read
Access Type	[空白]
Prompt	[空白]
ResourceID	https://graph.microsoft.com/
UserInfoIDPath	id
UserInfoFirstNamePath	mail
UserInfoLastNamePath	[空白]
ClientID	[ <b>ステップ7</b> のクライアントID]
ClientSecret	[ <b>ステップ10</b> のシークレット値]
UserInfoRoleNamesPath	department
ExtraRoleNames	[空白]
ExternalUserManagementUrl	[空白]
DisplayName	[自由です (※) ]

※例：DisplayNameを「365」に設定した場合、ログインページに「365でログイン」ボタンが表示されます。

## 1 6 OAuth2を有効にします。

The screenshot shows a management interface for OAuth2. At the top left, it says "OAuth2 (365) (無効)" and "OAuth2認可サーバーでログインを行います。". On the right side, there is a dropdown menu with options: "設定", "メタデータ生成", "有効", and "削除". The "有効" option is highlighted with a blue background and a red border, and a mouse cursor is pointing at it. A red circle highlights the three-dot menu icon, with a red arrow pointing down to the "有効" button. The word "ロール" is visible at the bottom left of the interface.

17 お客様のControlサイトから一旦ログアウトし、OAuth2のログインボタンをクリックします。



